

第 1 回総合教育会議における意見について

項 目	意 見	教育大綱（案）における該当項目	対 応（案）
1. 全体	(1) 「人づくり」と「人材育成」の表記を整理する必要がある。	「はじめに」、「基本理念」、基本方針 4 「「知的資源」と「国際性」を活かした人づくり」	第五次総合計画において、将来都市像や目指すまちの実現に向けて、5つの柱からなる「まちづくり大綱」を設けた。その柱の一つとして、市民一人ひとりが自らの個性や能力を最大限に発揮し、生涯にわたって充実した人生を送れるまちを目指す方針を「人づくり」として掲げた。教育大綱においても、同様に取り組むまちづくりを「人づくり」として表記する。
	(2) 「子供」、「子ども」、「こども」の表記を整理する必要がある。	「はじめに」、 基本方針 2 「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」の育成、 基本方針 3 「大学、研究機関との物的・人的連携の推進により、子どもの理数教育分野への興味・関心の喚起」「大学・企業と連携した最先端の研究体験など、子どもの興味・関心及び創造性を伸ばす教育の充実」	第五次総合計画に記載の「子ども」と表記する。
	(3) 「一人ひとり」は「一人一人」と表記を整理する必要がある。	「はじめに」、「基本理念」	第五次総合計画に記載の「一人ひとり」と表記する。
	(4) 市長部局と教育委員会が「一体となる」「尊重し合う」など、様々な表記があるので整理する必要がある。	「はじめに」、基本方針 1 「乳幼児期の教育・保育の質の向上」、「4 施策の推進に向けて」	「4 施策の推進に向けて」において、市長と教育委員会は、本大綱に定めたことを尊重し、連携すると表記する。
	(5) 文中の主語を明確にする必要がある。	基本方針 2 「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」の育成、 基本方針 3 「大学、研究機関との物的・人的連携の推進により、子どもの理数教育分野への興味・関心の喚起」	本大綱は、教育分野において重点的に取り組むべき施策の方向性を示すものであることから、各基本方針における「めざす施策の方向」の主語は「市」である。主語が市である項目は表記せず、その他、主語の表記が必要な箇所は追記する。
	(6) 横文字が多いので注釈が必要である。	「基本理念」、基本方針 4 「Town&Gown（タウン・アンド・ガウン）の推進による、学びの充実」	ページ下段に注釈を表記する。
	(7) 教育、子供に関わる人を増やす取組が必要である。	基本方針 5 「学びから生まれる交流やつながりを通じた社会・地域における人々の信頼関係や結びつきの醸成、まちの活性化」	今後、地域共生、コミュニティ・スクールの推進を通じて取り組む。
	(8) 市民の国際性の醸成、小中学生と留学生の交流の場づくりが必要である。	基本方針 4 「国際交流の推進による、異なる考え方や文化への寛容性、国際感覚を備えた人材の育成」	東広島国際フェスタを開催し、地域においては外国人と住民の交流会が開かれている。今後も、個別の施策において取り組む。
	(9) 「介護」、「健康づくり」の充実が必要である。	基本方針 2 「福祉・教育双方の視点によるきめ細かな学びの支援」、 基本方針 4 「Town&Gown（タウン・アンド・ガウン）の推進による、学びの充実」、 基本方針 5 「学びから生まれる交流やつながりを通じた社会・地域における人々の信頼関係や結びつきの醸成、まちの活性化」「生涯を通じたスポーツや文化芸術活動の推進と優れた芸術に触れる機会の創出」	介護を学ぶ大学生、高校生と介護職員が交流する場を設け、地域においては子どもから高齢者まで世代を問わず集う活動が行われている。今後も、個別の施策において取り組むとともに、市内大学との連携を検討する。
	(10) 中小企業のリスキリング（仕事で必要となる知識や技術の習得）、リカレント教育（社会人の学び）の取組の充実が必要である。	基本方針 4 「大学（学生を含む）・研究機関・企業と地域・市民の交流、連携の促進」「大学等の知見を活かした教育施策の推進」「Town&Gown（タウン・アンド・ガウン）の推進による、学びの充実」、 基本方針 5 「大学等の知的資源を活かした地域での生涯学習の推進」	今後、個別の施策において大学や企業など、多様な分野との連携を通じて取り組む。
	(11) 産学連携の充実が必要である。	基本方針 4 「大学（学生を含む）・研究機関・企業と地域・市民の交流、連携の促進」	市、市内大学、地元企業の連携を目的とした交流イベントを開催している。今後も、個別の施策において取り組む。
2. 基本方針 2	(1) 「健やかな体」の項目について、具体的な表現にする必要がある。	「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」の育成	第 3 期東広島市教育振興基本計画を参考に「トップアスリートによる指導や、地域・関係団体と連携したスポーツイベントを通じて、主体的に運動やスポーツに親しむ資質・能力を持つ子どもを育てる」と表記する。
	(2) 生まれ育った地域という表現を改める必要がある。	「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」の育成	「地域の伝統や文化を愛する心を持つ子どもを育てる」と表記する。
	(3) 教育 D X の推進に具体的な取組を入れる必要がある。	教育デジタルトランスフォーメーション（D X）の推進	今後、第 3 期東広島市教育振興基本計画に記載の子どもの情報活用能力の育成や、教職員の働き方改革などに取り組む。
	(4) 福祉、教育に「医療」を加える必要がある。	福祉・教育双方の視点によるきめ細かな学びの支援	今後、個別の施策において医療機関との連携を検討する。
3. 基本方針 4	(1) Town&Gown を分かりやすく表現する必要がある。リカレント教育、リスキリングが充実することで市民や地元企業に還元し、人材育成、成人教育、学びの機会の充実につなげられないか。	Town&Gown（タウン・アンド・ガウン）の推進による、学びの充実	「学びの充実」に、質の高い教育、成人教育、学び直しの充実に取り組むことを込めた。今後、個別の施策において大学や企業など、多様な分野との連携を通じて取り組む。
4. 基本方針 5	(1) 「郷土愛の醸成」について、郷土愛は表現が固いのでふるさと愛としてはどうか。具体的な取組の検討が今後必要である。成人層へのアプローチ、生涯教育の取組が必要ではないか。	歴史・文化の次世代への継承と郷土愛の醸成	「ふるさとへの誇りと愛着の醸成」と表記する。